

富岡町共生サポートセンターさくらの郷が完成しました



南側外観



トップライトと木梁がかかる大廊下



娯楽室



CONCEPT

帰還が進む町に
新たな中心となるサポート拠点

この建物は、東日本大震災からの復興が進む、福島県双葉郡富岡町に位置します。敷地である旧小学校グラウンドに、特別養護老人ホームとトータルサポート施設の2施設を、広場を囲むように配置しました。平屋切妻屋根の2施設が、新たな町の中心地となることを意図しています。本計画は、積水ハウス、日総建及び鴻池組の3社による設計・施工JVによって、完成しました。共通のコンセプトのもと、短工期での完成を実現しました。

(左) トータルサポート施設 (右) 特別養護老人ホーム



DATA

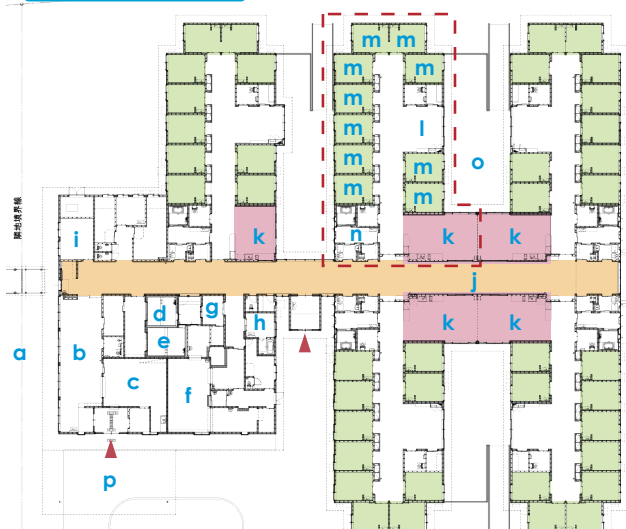
※特別養護老人ホームのみ

敷地面積	5,442.25㎡
建築面積	2,195.46㎡
延床面積	2,078.01㎡
建ぺい率	40.35% (許容60%)
容積率	38.19% (許容200%)
構造・規模	木造平屋建て、一部S造、布基礎 メンブレン被覆準耐火構造
最高高さ	7.59m
設計期間	2020.08~2021.03
工事期間	2021.06~2022.03

104v2

PLAN

※施設全体のうち 特別養護老人ホームのみ



- a. ひろば
- b. 娯楽室
- c. 事務室
- d. 特浴
- e. 機械浴
- f. 調理室
- g. 医務室
- h. 静養室
- i. 会議室
- j. 大廊下
- k. 居間
- l. 談話コーナー
- m. 居室
- n. 個浴
- o. 中庭
- p. 車寄せ

--- 1ユニット(10床)
▶ 出入口



1F PLAN S=1:800



SOUTH ELEVATION S=1:800

TOPICS

人と自然の気配を感じる”一つの家”

日総建が担当した特別養護老人ホームは、建物の中心に通した大廊下に面して5ユニットを配置した構成です。

各ユニットの居間には、大廊下に続く傾斜天井と大きな開口を設けることで、トップライトから射し込む陽光の移り変わりや、大廊下を挟んだ隣のユニットの気配を感じとることが出来る、明るい居場所を計画しました。

木造メンブレン耐火被覆と
燃え代設計を合わせた、温もりある空間

木造メンブレン被覆準耐火構造を採用しました。躯体の木が仕上に現れない構法ですが、利用者やその家族が主な時間を過ごす娯楽室及び居間には、木梁現しの燃え代設計を組み合わせることで、木の温もりを感じられる計画としました。

▶ <http://www.nissoken.co.jp>